

遊具衝撃緩和安全性測定装置

Section.35

Cat.No.NP-21

= 適応規格 = BS EN 1177

= 用途 = 本機はCEN（欧州標準化委員会）によって認可された遊具設置面での頭部落下時の衝撃に対する影響を測定する装置として開発致しました。遊び場等における障害は、様々な理由によって引き起こされますが、最も深刻な障害は頭部に与えられる衝撃であると考えられます。そこで最も重要な事は、頭部障害を減らす為の遊具設置面に対する性能評価は、遊具設置面に使用される材料を正しく評価する為に基準を見出す事にあります。これらの設置面とはラバータイル、マット、平板等が想定されますが、この装置はこれらの設置表面での評価にも使用する事ができ、そのデータは専用コンピュータにて演算、記憶されます。

= 特徴 = 装置のスタートは、安全性を考慮しP/Cにて操作。
HIC値（頭部障害基準）、自由落下時間、衝撃加速度最大値が自動演算。

= 仕様 =

型式：IT-EN
 模擬頭部：アルミニウム製片側半球型（160 ±5mm、4.6 ±0.05kg）
 加速度計：単軸加速度センサー、サンプリング周波数/8000Hz
 頭部落下高さ：0～2500mm
 頭部装着方式：電磁ホルダー方式
 頭部昇降装置：手動/電動兼用リール（バッテリー方式）
 試験入力項目：サンプル名、サンプルNO.、依頼者名、担当者名、受付日、試験日、試験担当者名、気温、湿度、保存ファイル名等

データ：A.頭部障害基準値(HIC値)/落下衝撃-時間グラフ
 B.危険落下高さ(HIC1000)
 C.最大衝撃加速度[m/s²]

電源：100V, 50 or 60Hz, 1

= 構成 = 頭部(加速度センサー含む)、加速度センサー制御器、制御ボックス、頭部脱着用電磁ホルダー、頭部昇降用手動/電動リール(バッテリー含む)、頭部昇降用三脚、データ処理用ノートP/C、携帯用プリンター、収納ボックス



* 改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。